

【3】実施事業内容

I 公益事業 <地場産品のPR事業>

<物販事業の総括>

新型コロナウイルス感染症の影響下で行ってきた「攻めの商い」の取り組みの成果と圏域内外の人の動きが増えたことから、販売総額と粗利益は当振興センター開設以来の過去最高額となり、売上増とPRの両面で事業者支援ができました。

◆令和5年度販売総額 240,520,459円 ⇒ 粗利益額 59,553,872円

(令和4年度販売総額 213,931,824円 ⇒ 粗利益 52,421,918円)

(平成30年度販売総額 196,158,288円 ⇒ 粗利益 46,430,580円)

1. 重点施策

(1) 外商の促進

通販担当を新設したため、外商職員が1名減となりましたが、昨年度までご注文のお客様（自治体や民間企業等）はもちろん、新たな販路獲得を目指して、当方からアプローチし、地酒や麺類、お菓子等の地場産くるめオリジナル詰め合わせセット等を提案することで、昨年度と同程度の成果をあげることができました。

(2) ふるさと納税返礼品やネット販売の強化

民間百貨店経験職員1名を「通販統括」に任命し、主にふるさと納税返礼品に関する国や久留米市等からの取扱い基準の変更に対応しつつ、掲載品の入れ替えや掲載内容の修正を行い、魅力向上に努めました。

また、独自のネットショッピングサイトを再構築して、取扱商品の増減調整やPRをしやすくするとともに、既存の民間サイトへの掲載を令和5年度で一部中止するなど、令和6年度からの本格的な販売効率強化の環境整備をしました。

(3) 広報PRの強化

圏域内の公共施設10か所に、専用のパンフレットラックを設置して、各施設の来場者の方々に対する広報PRする機会を増やしました。

また、昨年度から開始しました職員によるSNS（特にInstagramやX）による3物産館からの効果的な情報発信に加えて、新たに公式LINEの整備も行い、プッシュ型の情報発信もできるように環境整備を行いました。

さらに、広報PRに関して、以下のとおり様々な機会を捉え、当振興センター自体と事業内容の双方をPRしました。

①イベント会場での出店販売とPR

- ・6/3～4 「めくるめく宇宙博」・・・久留米
- ・6/28～7/2 「中核市ご当地じまんフェア」・・・東京
- ・10/22 「筑後川本格改修100周年記念イベント」・・・久留米
- ・10/28 「アビスパ福岡・久留米市応援デー」・・・福岡市
- ・11/11 「高槻市市制施行80周年記念イベント」・・・大阪

②マスコミを活用したPR

- ・KBCの「ふるさとWISH」の景品提供（販売）
- ・新聞への関連記事掲載 他

③デジタルサイネージの活用

- ・久留米シティプラザや久留米市内にある市民センター

（４）顧客サービスの見直し

JR久留米駅店、六ツ門店、東合川本店の３つの物産館では、立地条件やお客様のニーズに合わせ、母の日や父の日、お中元やお歳暮時期には商品強化を心掛けながら、お客様に地場産品を提案しました。

また、各物産館の職員が協力して、店や地場産品の紹介などを独自のSNS（特にInstagramやX）で、最新情報をリアルタイムに発信するとともに、公式LINEも開設しました。

一方、お客様への優遇措置は、「かすりすと」の特典や「いい日地場産の日」の特別割引等も含めて、購入金額や来店回数に応じた優遇策への見直し検討を始めました。

2. 地場産品需要開拓・情報収集整理提供事業

（１）各種物産展への出店（インターナショナルギフトショーへの出展支援含む）

①出店実績一覧

令和５年５月に新型コロナウイルス感染症が５類に移行され、４年ぶりに日常生活が戻り、公的機関や民間団体等が主催する各種イベント等も、コロナ禍前の頻度で開催されるようになりました。

地場産くるめでは、本圏域の地場産品を来場者等に広くPR・販売するため、主催者側と協力してイベント等の会場内に積極的に臨時出店しています。令和５年度は、３６件のイベント等に出店しました。

出店件数 ３６件（前年度 ２７件）

（単位：円）

	日付	イベント名	売上額
1	4月15日 ～4月16日	久留米つつじマーチ〔久留米中央公園〕	112,800
2	4月26日	フラワー都市交流 物産展 〔地場産くるめ東合川本店2階ロビー〕	43,000
3	4月26日	フラワー都市交流 物産展〔ホテルニュープラザ〕	31,151
4	4月27日	フラワー都市交流 物産展 〔道の駅くるめ屋外イベント広場〕	60,380
5	6月3日 ～4日	めくるめく宇宙博〔久留米シティプラザ〕	68,022
6	6月18日 ～19日	道の駅くるめ販売会〔屋外イベント広場〕	195,457

7	6月28日	中核市東京事務所ご当地じまんフェア 2023 〔霞が関コモンゲート/委託出店〕	74,360
8	6月28日 ～7月2日	中核市ご当地じまんフェア 〔東京都/八芳園ポップアップショールーム/委託出店〕	26,316
9	7月8日 ～9日	2023 じばさん夏の市 〔群馬県/桐生センター（群馬県）/委託出店〕	40,315
10	7月22日 ～31日	西鉄縁線駅みやげ店舗〔西鉄天神駅売店/委託出店〕	68,193
11	7月29日	北野えだまめ収穫フェア〔コスモスパーク北野/委託出店〕	38,600
12	9月12日 ～13日	福岡県庁ロビー展〔福岡県庁〕	47,070
13	10月6日 ～22日	西鉄縁線駅みやげ店舗〔西鉄天神駅売店/委託出店〕	87,913
14	10月7日 ～8日	こおりやま産業博 〔ビッグパレットふくしま（福島県）〕	162,895
15	10月7日 ～8日	久留米かすり蔵出し市〔地場産くるめ〕	1,867,495
16	10月8日	日本超音波医学会 〔久留米シティプラザ〕	36,869
17	10月14日 ～15日	筑後川のめぐみフェスティバル 〔福岡市役所西側ふれあい広場〕	220,000
18	10月14日 ～15日	筑後 SAKE フェスタ食ブース〔久留米シティプラザ〕	210,083
19	10月14日 ～15日	全国地場産センターフェア 〔高岡地域地場産業振興センター（富山県）/委託出店〕	90,040
20	10月21日 ～22日	北野町コスモスまつり〔コスモスパーク北野/委託出店〕	66,040
21	10月22日	筑後川100周年記念イベント〔久留米シティプラザ〕	280,011
22	10月28日	アビスパ福岡久留米フェア〔ベスト電器スタジアム〕	78,300
23	10月28日 ～29日	今治せんいまつり 〔今治地域地場産業振興センター（愛媛県）/委託出店〕	72,241
24	10月29日	久留米広域連携中枢都市圏イベント〔筑後川河川敷〕	22,940
25	10月29日	けん玉大会〔久留米アリーナ〕	64,410
26	10月31日	くるめつつじ会総会懇親会 〔アルカディア市ヶ谷（東京都）〕	61,547

27	11月9日 ～10日	日本病理学会〔久留米シティプラザ〕	133,900
28	11月11日	高槻市市制施行80周年記念フェスタ 〔安満遺跡公園（大阪府）〕	20,990
29	11月11日 ～12日	ふるさとくるめ農業まつり〔久留米百年公園〕	78,210
30	11月14日	老人クラブ福祉大会〔久留米シティプラザ〕	9,150
31	12月16日 ～17日	2023 じばさん冬の市 〔桐生地場産センター（群馬県）/委託出店〕	54,160
32	12月16日 ～17日	道の駅くるめ販売会〔屋外イベント広場〕	93,060
33	1月4日	新年賀詞交換会〔久留米シティプラザ〕	32,639
34	2月17日 ～18日	城島酒蔵びらき〔JR久留米駅東西通路〕	261,550
35	3月16日 ～17日	藍・愛・で逢いフェスティバル 〔緋のトキメキ〕	4,308,200
36	3月21日 ～22日	福岡物産展「よかところ筑後・特産品フェア」 〔天神地下街イベントコーナー〕	445,960
		合計	9,564,267

②国際ギフトショーへの出展支援

国内最大級の商談会『第97回東京国際ギフトショー春2024』への地元企業の出展支援を行い、商談成立額は昨年度より増加しました。

開催日	令和6年2月6日（火）～8日（木）
開催場所	東京ビッグサイト
参加企業	3業者
出展品目	250点（久留米緋、久留米織、寝具等）
商談件数	85件
商談成立	32件（予想商談額 120,967千円）
来場者数	223,040人

（2）筑後の酒の振興

全国有数の酒処である久留米市を中心とした『筑後の酒』の振興を図るために、過去3年間、新型コロナウイルス感染症拡大により中止した『筑後SAKEフェスタ』を開催し、多くの来場者に楽しんでもらうとともに、開催広報（新聞やタウン誌、SNS、チラシやポスター等）を通じて、様々なPRを行いました。

参加酒蔵 21社

開催期日	令和5年10月14日（土）～15日（日）
開催場所	久留米シティプラザ 六角堂広場
来場者数	約7,000人（前回2019年 約6,000人）

（3）いい日地場産の日の開催

地場産品の魅力をアピールするために、毎月11日を『いい日地場産の日』に定めており、地場産品の割引販売や生産者による直接販売を行いました。

また、11日が土・日・祝日の月は体験教室を開催して、さらなる誘客の獲得に努めました。

開催場所	地場産くるめ物産館3店舗 (JR久留米駅店、六ツ門店は割引販売のみ)
販 売	特産品コーナー（久留米餅、ラーメン、銘菓、木工芸品等） JAくるめ女性部さわやか市による“とれたて野菜”の販売 手作りパン等の販売
手 作 り 体験教室	餅を使ったサコッシュ作り、餅を使ったキーケース作り、餅 を使った五角形トレイ作り、餅を使った腕カバー作り（4回 開催）
来場者数	約4,600人（前年度 約4,100人）

3. 新商品開発・販売支援事業

完熟マンゴー特別販売会や冬のうまいもの発の企画販売、民間業者へ総会記念品として清酒セットとエコバッグの組み合わせ販売など、今後につながる取り組みを行いました。

① 久留米産マンゴー特別販売会

((1)特大玉3玉セット、(2)特大玉2玉セット、(3)大玉3玉セット)

- ・売上 (1)6,000円（税込）× 33セット
- (2)5,000円（税込）× 24セット
- (3)5,000円（税込）× 9セット

② 冬のうまいもの発

取扱商品の幅を広げ、魅力ある品を提供すべく、当振興センターとして新規開発した以下の商品販売を開始しました。

- a. 鍋物（はかた地どり美人鍋水炊きセットや久留米とんこつみそ鍋セットなど）75セット398,304円
- b. あまおう、酒飲み比べセット、はんてん他 72セット359,316円

4. 久留米餅等振興事業

（1）久留米餅資料館の活用

久留米餅の普及・PRを推進するために、見学希望者の方に、久留米市文化財保護課等と連携して、久留米餅の製作工程や作品の説明及び手織の実演を行うとともに、イベント時に特別PR展示を行いました。

来場団体数 30団体（前年度 23団体）

来場者数 約2,900人（前年度 約2,500人）

（2）藍・愛・で逢いフェスティバルとのタイアップ事業の実施

3月開催の『藍・愛・で逢いフェスティバル』にあわせて、久留米手織り体験教室及びプロカメラマンによる記念写真撮影『かすりでハイ・ポーズ』を実施しました。また、久留米絣ネクタイオーダー受注会を新たに行うなど、これまで取り扱いが少なかった紳士物の品揃えを増やしました。更に、ご購入者や地場産LINEを登録いただいた方にガチャポンで景品をプレゼントしたりするなど、絣や地場産くるめのPRに努めました。

開催場所 地場産くるめ

開催日 令和6年3月16日（土）～17日（日）

来場者数 約3,000人（昨年度 2,100人）

LINE登録 510人（2日間のみ）

（3）新たな需要開拓に向けた支援

久留米絣協同組合が久留米絣の需要開拓のために福岡市の大丸で開催した展示会に対する助成や、10月と3月に当振興センターの総合展示場を活用した久留米絣の2大イベントの開催支援を行いました。

5. 地場産品展示販売事業

（1）地場産くるめ物産館『JR久留米駅店』

コロナ禍による規制が無くなり、海外からの訪日客や隣県施設の利用者など、新たな来店者が増加するとともに、懇親会の記念品や特別列車の運行等イベントの復活による商品の需要など、多くの要因により過去最高の売上となりました。最終的には、昨年度比約128%の売上となりました。

売上金額 134,197,173円 レジ通過者 90,708人

（令和4年度 105,061,711円 レジ通過者 77,387人）

（平成30年度 112,286,003円 レジ通過者 89,858人）

《売上ベスト10》

商品名	単価（円）	売上数量	売上金額（円）	製造地
くるめんべい（大）	1,080/1,200	5,305	6,013,920	久留米市
くるめんべい（小）	540/600	8,929	5,063,160	久留米市
大砲ラーメン 4食入り	1,800/2,000	2,582	4,855,400	久留米市
大砲ラーメン 2食入り	900/1,000	4,533	4,275,500	久留米市
えんどう豆かりんとう	410	9,284	3,806,440	久留米市
福大黒 8本入り	464	7,062	3,276,768	久留米市
大砲ラーメン 1食入り	410/450	5,973	2,561,730	久留米市
筑紫路 10本入り	464	4,737	2,197,968	久留米市

恋するチョコサンド	993	1,974	1,960,182	八女市
塩屋の娘 6個入り	1,100/1,300	1,633	1,902,700	久留米市

(2) 地場産くるめ物産館『六ツ門店』

久留米シティプラザで開催されるイベントや学会のお客様はもちろん、地域住民の固定客も増えており、安定した売り上げにつながっています。職員によるSNS発信によりフォロワーが少しずつ増え、商品入荷時の情報発信で来店者が増えるようになりました。生活スタイルの変化で夏場はインスタント商品の売り上げが好調でした。最終的には、前年度比約110%の売上となりました。

売上金額 **24,822,794円** **レジ通過者** **14,755人**
(令和4年度 22,549,001円 レジ通過者 13,690人)
(平成30年度 20,732,286円 レジ通過者 15,481人)

《売上ベスト10》

商品名	単価(円)	売上数量	売上金額(円)	製造地
福大黒 8本入り	464	1319	612,016	久留米市
くるめんべい(小)	540/600	991	558,900	久留米市
くるめんべい(大)	1,080/1,200	481	544,560	久留米市
えんどう豆かりんとう	410	1,285	526,850	久留米市
くるめん棒 1本	214	2,448	523,872	久留米市
ダルムチップス	500	843	421,500	久留米市
くるめん棒 5本入り	1,242	324	402,408	久留米市
大砲ラーメン 4食入り	1,800/2,000	176	330,800	久留米市
筑紫路 10本入り	464	664	308,096	久留米市
素人残月 6個入り	360/380	747	283,800	久留米市

(3) 地場産くるめ物産館『東合川本店』

毎年恒例の緋シャツ受注会や夏のファッションウィークなどの主催事業を始め、半纏や甚平など季節に合わせた品揃え、更には久留米緋協同組合主催の「藍・愛・で逢いフェスティバル」や「蔵出し市」の時、連携して特別販売を行うことで、コロナ禍前の売り上げに戻りました。また、世界のつばき館や道の駅くるめと協力して、お客様が回遊するためのチラシも設置しました。その結果、最終的に前年度比約113%の売上となりました。

売上金額 **33,118,345円** **レジ通過者** **9,483人**
(令和4年度 29,357,198円 レジ通過者 8,289人)
(平成30年度 25,051,479円 レジ通過者 7,099人)

《売上ベスト１０》

商品名	単価（円）	売上数量	売上金額（円）	製造地
くるめんべい（大）	1,080/1,200	581	660,000	久留米市
くるめんべい（小）	540/600	1,025	580,380	久留米市
えんどう豆かりんとう	410	1,301	533,410	久留米市
大砲ラーメン 4食入り	1,800/2,000	250	477,400	久留米市
No. 1909 紳士シャツ	5,940	66	392,040	久留米市
ダルムチップス	500	655	327,500	久留米市
大砲ラーメン 2食入り	900/1,000	331	317,000	久留米市
丸箸	1,210/1,375	243	309,705	久留米市
大砲ラーメン 1食入り	410/450	630	273,580	久留米市
ドビーもんぺ	1,980	140	277,200	久留米市

（４）道の駅くるめの活用

店内２か所に「地場産コーナー」という看板表示に加えて、専用のパンフレットラックを設置するとともに、別室の情報コーナーにも専用のパンフレットラックを新たに設置して、地場産くるめの紹介と取扱商品の広報PRに努めました。

また、屋外イベント広場でも３回の特別販売会を開催するなどして、道の駅くるめから地場産くるめ東合川本店への誘導にも留意した取り組みをしました。

最終的には、前年度比約１０３％の売上となりました。

売上金額 17,866,107円

（令和４年度 17,372,278円）

（平成30年度 12,440,126円）

《売上ベスト１０》

商品名	単価（円）	売上数量	売上金額（円）	製造地
大砲ラーメン 1食入り	410/450	2,572	1,097,760	久留米市
大砲ラーメン 4食入り	1,800/2,000	485	908,000	久留米市
大砲ラーメン 2食入り	900/1,000	957	895,500	久留米市
らーめん八 1食入り	450	1,876	844,200	久留米市
塩屋の娘6個入り	1,100/1,300	515	589,500	久留米市
サクリスタン6本入り	1,190	373	443,870	久留米市
龍の家ラーメン4食入り	2,020	218	440,360	久留米市
久留米ラーメン4食入り	735/780	511	398,310	久留米市
恋するチョコサンド	995	400	398,000	八女市
玉露物語	680	584	397,120	八女市

(5) 他の販売促進の取り組み

①新たな委託販売先の確保

岩田屋久留米店の地下1階の売場で、新たに年4回の期間限定・委託販売を始め、地元のお菓子や麺類等のPR販売を行いました。

R5. 8. 2～29 お中元、R5. 12. 26～R6. 1. 16 歳暮&年賀、R6. 3. 20～4. 2 春のてみやげ

②前年度からの継続

世界のつばき館では、久留米市内外からの観光客が多い時期を中心に、従来からの委託販売品目を大幅に増やすとともに、つばき館開館10周年記念イベントでは地場産品を景品として提供し、PRに努めました。

また、(株)久大エンタープライズが運営する久留米大学御井学舎の売店と久留米市役所庁舎内の売店アザレアでの委託販売も行いました。

③構成自治体等への地場産品活用の売り込み

久留米市や外郭団体等が行う事業の中で、当振興センターが取り扱う地場産品活用の売り込みを外商やチラシの配布等により、売り上げ増につなげました。

その具体例は以下のとおりです。

- a. 久留米市の競輪事業課、人事厚生課、長寿支援課、北野総合支所、広報戦略課、企業誘致推進課などが行う各種事業への地場産品の販売
- b. (公財)久留米観光コンベンション国際交流協会の誘客誘致(MICE)事業の団体を対象とした地場産品購入割引の実施
- c. (公社)久留米広域勤労者福祉サービスセンター(KSC)の会員向けクーポン券(地場産品対象)をR3年度から3年連続で実施
- d. (株)久留米リサーチ・パーク研究開発した製品(フリーズドライの味噌汁やボディソープ等)の店舗販売
- e. 福岡県の物産観光展示室(県庁内)への地場産品の販売 など

II 収益事業

1. 重点施策

(1) 貸館・貸室事業(総合展示場・会議室・研修室)の利益率の向上

過去の利用者の再利用や新規利用者の獲得を目指して、以下の取り組みを積極的に行いました。

- ①過去又は現利用者への電話又は対面営業
- ②久留米市公共施設予約システムと当ホームページでの空き状況の公開
- ③有料・無料の各種月刊誌へのPR記事の掲載
 - a. 久留米市商工所管の「商工労働ニュース(2024年春号)」・・・6800部
 - b. 久留米商工会議所ニュース(2月号)・・・4600部
 - c. 福岡県中小企業団体中央会機関紙(3月号)・・・1400部
- ④専用チラシの折り込み配布
 - a. KSCニュース(4・5月号)・・・1500部
 - b. 久留米商工会議所ニュース(5月号)・・・4600部
- ⑤久留米市の広報紙(4月号)への紹介記事の掲載
- ⑥久留米市内の公共施設に設置したパンフレットラックでの情報提供

また、会議室や研修室にはWi-Fi（無料）を整備、総合展示場のパーテーションや駐車場の区画ラインと看板を塗り替えるなど、利用者の方々に配慮した環境整備も行いました。

これらの取り組みの結果、収益は対前年度比76.4%増となり、予算額を超える金額を確保できました。

総合展示場

延使用日数	133日（前年度86日）
使用料	28,397,600円 (令和4年度 15,646,400円) (平成30年度 30,151,440円)

会議室

延使用日数	449日（前年度333日）
使用料	3,631,815円 (令和4年度 2,375,890円) (平成30年度 4,326,588円)

研修室

延使用日数	72日（前年度68日）
使用料	1,343,870円 (令和4年度 1,147,300円) (平成30年度 1,581,768円)

冷暖房・電気等	8,056,016円（総合展示場、会議室合計） (令和4年度 4,321,547円) (平成30年度 8,799,841円)
---------	--

（2）老朽化に伴う東合川本館の長寿命化計画の策定

東合川本館は、建設から41年が経過しており、施設本体及び電気系統をはじめとする各種設備等の老朽化が一定進んでいます。この様な中において、日々の事業運営に支障が生じる雨漏れや空調等々については、応急的措置として必要最小限の修繕を行っている状況です。

この状況を踏まえ、今後の安全で安定した施設利用を継続するために、令和5年3月に構成自治体（久留米市）の建築担当及び設備担当に専門的な視点で実地検証を実施していただきました。

今後は、この検証を基に将来に亘り事業運営を継続するために必要となる改修工事や大規模修繕等の実施時期とその経費等を網羅した施設整備計画書「東合川本館の長寿命化計画（仮称）」を関係団体の専門部署の協力を得ながら策定していく予定です。

2. 賃貸・喫茶事業

館内の事務室を地元組合等は勿論、久留米市の事業を受託した事業者への短期貸出しを行いました。また、喫茶事業を休止しているため、お客様サービスとして、東合川本館の内外に飲み物の自動販売機を設置しています。